

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	学校安全施設整備事業		担当部署	教育委員会 教育総務課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	学校教育法5条、地方自治法第180条8、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第1項第7号都 市公園における遊具の安全確保に関する指針	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value=""/> 18 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと			終期
(小項目)	教育行政				
施策	1	教育行政の充実			
基本事業	7	安全で安心な教育環境の整備充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業対象	誰(何)を対象にしているか	市内の幼稚園・小中学校に設置している設備等														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	園児・児童・生徒たちが安全に、かつ安心して遊び学べる施設環境を整備していくために、必要な施設等の改修を行い、安全な学校施設とする。														
事業計画	30年度に何を計画していたか	各学校(園)の施設改修や老朽化した遊具の撤去・設置、また防犯設備の充実など、園児・児童・生徒の安全確保に向けた整備を行う。また、平成26年度からの6か年の計画で実施している「防犯カメラ及びセンサーライト」の配備について、未整備の学校への設置を進める。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業対象件数のうち改修や設置などにより改善する学校施設・遊具件数</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位	事業対象件数のうち改修や設置などにより改善する学校施設・遊具件数	20	20	20	20	20	件
指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位										
事業対象件数のうち改修や設置などにより改善する学校施設・遊具件数	20	20	20	20	20	件										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	現地調査やヒアリング等をもとに、各学校施設で安全上・防犯上、設置や改修が必要な施設・設備を集計し、早急に対応すべき事案について予算内で整備を行った。また、「防犯カメラ及びセンサーライト」について、年次計画に基づき未配備の学校への設置を行った(小学校2校)。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	年度中に改修や設置を行った件数	26	32	20	20	20	件
	2	前年度までに改修や設置を行った件数	182	208	260	280	300	件
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標	事業対象件数のうち改修や設置などにより改善する学校施設・遊具件数		26	32	-	-	-	件
	目標達成率(実績/目標)			160.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	0	0	0	10,000	10,000
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	10,000	10,000
		決算額	0	0	0	0	9,673	9,673
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)		総人件費		総事業費
		0.2	0.0		1,464		11,137	

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	9,991	9,673	9,000	9,000	9,000
	うち一般財源	9,991	9,673	9,000	9,000	9,000
	人件費	1,447	1,464	1,464	1,464	1,464
	総事業費	11,438	11,137	10,464	10,464	10,464

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		安全で安心な教育環境の充実のために、不可欠な事業である。
	効率性	A:効率的だった		現地調査や学校からのヒアリングにより、緊急性が高いものから優先して対策を実施した。
②成果に対する評価	指標名	事業対象件数のうち改修や設置などにより改善する学校施設・遊具件数		必要な整備を実施することにより、園児、児童、生徒の安全な教育環境を確保することができた。
	目標	20	件	
	実績	32	件	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		計画に沿って、事業を進めることができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現地調査やヒアリング等を通じて各学校(園)施設の劣化状況等の把握に努め、計画的に事業を推進する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	施設改修や老朽化した遊具の撤去・設置、防犯設備の充実など、児童生徒の安全確保に向けた整備を行うとともに、「防犯カメラ及びセンサーライト」の計画的な配備を進める。			
	R2年度	施設改修や老朽化した遊具の撤去・設置、防犯設備の充実など、児童生徒の安全確保に向けた整備を行う。			